営まどえる魄はくを載やすんじ、一いつを抱いだいて、能よく離はなるること無なからんか。氣きを專もっぱらにし柔じゅうを致いたして、能よく嬰えい児じならんか。玄げん覽らんを滌てき除じよして、能よく疵しな無なからんか。民たみを愛あいし国くにを治おさめて、能よく以もつて知しらるること無なからんか。天てん門もん開かい闔こうして、能よく雌したらんか。明めい白はく四した達たつして、能よく以もつて為なすこと無なからんか。之これを生しじ之これを畜やしない、生しずるも而しかも有ゆうとせず、為なすも而しかも恃たのまず。長ちようたるも而しかも宰さいたらず。是これを玄げん徳とくと謂いう。

【大だ体たいの意い味み内ない容よう】迷まよえる心しん身しんを安やすらかに整ととのえ、唯ゆい一いつ絶ぜつ対たいの真しん理りを抱いだいて、その「道みち」から離はなれてはならない。言こと葉はや理り屈くつによらず、氣きの満みち引ひきで、本ほん質しつ的てきコこミみニにケけーしョよンんをとり、柔じゅうよく剛ごうを制せいする境きやう地ちに至いたる、それは究きゆう極ごく的てきには、誕たん生じやうした瞬しゆん間かんの、嬰あか児じのような存在そんざいではないか。もつとも無むり力りよくなようできて、実じつは最さい善ぜんの「道みち」を、体たい現げんしているのだ。それは譬たとえて言えば、神しん聖せいな鏡かがみを聖せい水すいで漱すすいで、疵きずひとつなく、森しん羅ら万ばん象しやうが映うつし出だされるようなものだ。

(嬰あか児じの生いき態たいによつて我われ々の造つくりだす世界せかいが、採さい点てん評ひやう価かされてしまうのである) 民たみを愛あいし、国くにを治おさめ得えたとしても、無むめい名めいのままであるべきではないか。すべての生いきとし生いけるものは、例れい外がいなく雌めすや女じよ性せいから誕たん生じやうせしめられる。つまり生せい命めいの生せい成せい発はつ展てんは、女じよ性せい原げん理りによつて成なり立たっているのだ。この女じよ性せい原げん理りを「天てん門もん」という。この偉い大だいさの前まえでは、いかに名めい君くんだとしても、国こく王わうの名ななど塵ちりほどの値ね打うちちもない。こうした「天てん門もん」による生せい命めい誕たん生じやうの光ひかりが、天てん・地ち・人じん・神しんの四し才さいすべてを照てらさなければ、もはやわれら矮わい小しやうなる者ものに為なすべきことは、つゆほどもない。こうしたことをよくわきまえ、よく悟さとり、誕たん生じやうしたものの成せい長ちやうに、奉ほう仕しすること。何なにかを生う

み出したとしても、私物化するのではなく、何かを成し遂げても、そのことを恃んで無駄に誇ることなどしない。リーダーとなっても、思いあがった独裁者とはならないこと。このように、日の当たるところで活躍せずとも、日の当たらない陰から、何の見返りや報酬も期待せずに、人々を支え、支援するのが、本当の意味での「お陰様」なのであり、そうした志を、「玄德」というのである。

「数十年に一度の大雨」「史上最大規模の災害」といった言葉が毎年、いや数カ月ごとと呼ばれています。たしかに三日ほど千ミリというのは尋常ではありません。東京で年間降水量が千六百ミリほどののでそれに近い。まさに空からの津波というべき現象が起きています。

「へなられた方々には、心よりの冥福をお祈り申し上げます。」

「こうした災害の時には本当に多くの人々が、特に名前を出されて顕彰されることもなく、身を粉にして黙々と、救出活動や支援活動に奉仕してらっしゃいます。」

タイの洞窟に閉じ込められた十三人の少年たちを、救出しようとしているダイバーたちのひとりが死亡するという、いたましい情報もありました。

このように、ほんまの示されたと思います。

多くの方々の「玄德」に、頭を垂れるしかありません。

岡山県の災害が起きている地域に、友人家族が住んでおり、いまだに安否の確認が取れていません。

救出する側、される側、一人でも多くの人々の生還を、お祈り申し上げます。